

クラス	306	担当教員	土井 裕貴
テーマ	対人援助職の支援, 子ども・学校臨床		
著書・論文	<p>【論文】・不登校の子を"抱えていく"母親との面接過程 『日本福祉大学心理臨床研究センター紀要』第17号,pp.15-27 (2022)</p> <p>・本邦における心理検査のフィードバックに関する展望と課題 『日本福祉大学 子ども発達学論集』第14号,pp.23-35 (2022)</p>		
研究課題等	<p>・キャリアの浅い対人援助職者における主観的な疲労体験 —バーンアウトの理解と支援に向けて— 『カウンセリング研究』第54号2巻,pp.60-72 (2021) 他</p> <p>【研究課題】支援者支援, 心理アセスメントとフィードバック, 子ども・学校臨床</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：支援者支援, 心理アセスメントとフィードバック, 子ども・学校臨床			
<p><b>内容：</b></p> <p>① 対人援助職のメンタルヘルスについて：対人援助職（以下、援助職）は教師や福祉職、心理職など、「援助をする」ことを仕事とする職業です。皆さんの中にも援助職に就く予定の方は多いのではないのでしょうか。しかし、援助職者の中には、就職後、早々に離職する方やメンタル不調に陥る方も多く見られます。それらの援助職者のメンタルヘルスに関連することをテーマに研究しています。最近は援助職者自身が自己理解を深めることが重要なのではないかと感じています。</p> <p>② 心理アセスメントについて：知能検査、発達検査、人格検査（特にロール・シャッフ法）などの心理検査を用いてテストバッテリーを組み、心理アセスメントを実践してきました。最近は、心理検査、心理アセスメントの結果を効果的にフィードバックする手続きについて興味を持っています。</p> <p>③ その他：臨床はスクールカウンセリングを中心に、乳幼児の発達相談、プレイセラピー、障がいのある方との動作法などを行ってきました。最近は産業領域にも関わっています。学校の先生との連携やコンサルテーションのあり方、学校での心理臨床のあり方についても興味を持っています。</p>			
<p><b>学習目標：</b></p> <p>① 自身の関心、興味、疑問を追求し、積極的に情報収集する、自ら足を運んで体感するなどの主体性を身に着ける。</p> <p>② 自らの関心、興味、疑問について、意見を持ち、議論できる。</p> <p>③ 自身の関心をもとに、心理学的手法を用いて卒業論文を完成させ、心理学的研究の知識を身に着ける。</p>			
<p><b>授業計画等：</b></p> <p>&lt;3年次&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期：受講生と相談の上、前期の活動内容を決定する。グループ発表・個人発表を通して、各自の関心を掘り下げる。</li> <li>・後期：グループでの研究活動。グループごとにテーマを決め、研究活動を一通り実施し、卒論作成のイメージをつかむ。</li> </ul> <p>&lt;4年次&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期：各自で選定したテーマについて、調査計画を立てて、調査を実施する。前期中に調査を終了する。</li> <li>・後期：ゼミでの発表を通して、ブラッシュアップさせながら卒業論文を完成させる。</li> </ul>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>教員のテーマとの移動は問わず、自身のテーマをしっかりと探求したい方、ゼミ活動にしっかりとコミットしたい方を募集します。皆さんの希望次第ですが、外部機関への見学や、ゼミ以外での勉強会、他学部ゼミとの交流なども実施できればと思います。是非、積極性を発揮してください。</p> <p>また、ゼミでは、積極的に意見を求めることが多く、またプレゼンテーションの機会も多くなりますので、希望される方は心の準備をしておいてください（学期ごとの課題もあります）。</p> <p>頑張っって取り組んだ分だけ、自分の身につくものも多いです。是非一緒に頑張りましょう。</p> <p>アットホームだけれども、しっかり学問的な議論もできる、そういったゼミ運営をしていきたいと思っています。</p>			